

第74回 “社会を明るくする運動” 高校生標語表彰式

“社会を明るくする運動”とは、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動で、令和6年で74回目を迎えます。10月12日(土)、第74回“社会を明るくする運動”の一環として高校生から募集した標語の優秀作品表彰式が行われました。628名から1021点の応募があり、審査の結果、次の方々が入賞されました。おめでとうございます。



最優秀	黒澤 夢 菜 (麻生高校)	「あたたかい 声のかけ“愛” 助け“愛”」
優 秀	高 橋 由 麻 (潮来高校)	「せめるより 許す心と 思いやり」
優 秀	平 間 美 愛 (麻生高校)	「送るまえ 確認しよう その言葉」
優 良	内 山 咲 姫 (潮来高校)	「気づこうよ 大事な人の SOS」
優 良	白 鳥 佳 月 (麻生高校)	「スマホ時間 へらしてふやそう コミュニケーション」
優 良	大 竹 望 美 (麻生高校)	「スマホより 家族の時間を 大切に」
優 良	草 野 操 (潮来高校)	「はっきりと 言葉で伝える 大切さ」
優 良	近 野 な な り (麻生高校)	「助けよう 一声かける その勇氣」
佳 作	前 野 ひ と み (潮来高校)	「気づいてる? ひとりひとりの いい所」
佳 作	鬼 澤 美 乃 (潮来高校)	「見直して 相手に送る そのメール」
佳 作	堀 江 瑠 愛 (潮来高校)	「あいさつの 種をまこうよ 咲かせよう」
佳 作	関 育 夢 (潮来高校)	「まってるよ 言いたいことが いえるまで」
佳 作	平 石 唯 真 (潮来高校)	「変わるのは 周りじゃなくて 自分から」
佳 作	菊 尾 優 (潮来高校)	「落ち着いて 逃げも立派な 選択肢」
佳 作	石 間 涼 介 (麻生高校)	「思いやり 笑顔で繋ぐ 明るい社会」
佳 作	大 崎 稜 平 (麻生高校)	「君の勇氣 いじめを終わらす きっかけに」
佳 作	大 津 優 衣 奈 (麻生高校)	「私たちが 明るい未来 守り隊」
佳 作	佐 伯 叶 夢 (玉造工高)	「あいさつで つながる笑顔 地域の輪」

地域おこし協力隊通信

第66回

私の進路



リポーター…
高橋将行 隊員



こんにちは、今月号は高橋が寄稿いたします。早いもので今年もあと2か月：今年もあつという間の1年でしたね。

今年度、この協力隊通信は小林・羽下・高橋の3人の輪番で回しています。私が寄稿できる残り回数をカレンダーを使って調べたところ、あと2回(今月号と、令和7年2月号)しかないみたいです。

そうなんです、実は私、来年の3月に協力隊を卒業となるんです。私の協力隊ライフを伴走してくださった小林さんと手を繋いで一緒に卒業のゴールテープを切ろうと思います。(ちなみに小林さんは今年の6月にめでたく私生活でゴールインしました！)

来年度以降の私はどうするか：というと、住まいは変えずにこのまま潮来市に居ようというところは考えています。鹿行地域の協力隊と力を合わせてNPO法人を作ったり、自身でもお箸の教室を作ったり、講座を持たせていただいたり：様々な門戸を開いたからにはある程度の成果物を作ったり、歯車が自動で回り続けられるようになるまで

はこの地を動くことはしないという選択をしています。前述のことが達成できて初めて定住するのじゃないというネクストステップが出来てくるのかななんて思っています。3年で辿り着けなかったのは非常に反省。

潮来に住まいを移しても前居住地であった葛飾区との縁も全く切れることもなく、前職でお世話になっていた高砂地区にお住いの皆さん、そして筆中の先生とも縁が続いています。(移住したところは、築いた関係も徐々に疎遠になっていって、それでこそ「筆」は止めてしまうのだろうな：なんて考えていました)が、むしろ東京に居る時よりも情熱に溢れており、師匠を鹿行地区にお招きし楽器の講習を開いたり活動は盛んになっています。

私は葛飾区で暮らし直すという選択肢もまだまだ残っていると思っていて、どちらの地域を選ばにせよ人の縁に恵まれた幸せで波風の立たない平穏な暮らしが出来るのではないかと思っています。だからこそ、どちらかを選ぶのは難しく、悩ましいのです。